

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回所沢市上下水道事業運営審議会	
開 催 日 時	令和5年5月26日（金） 午前10時00分から11時30分まで	
開 催 場 所	上下水道局庁舎3階 大会議室	
出 席 者 の 氏 名	越阪部 眞、金子 修三、北野 大、永井 儀男 長谷川 麻衣、本田 静香、吉田 しずえ（50音順）	
欠 席 者 の 氏 名	柿木 薫	
説 明 者 の 職 ・ 氏 名		
議 題	(1) 令和5年度所沢市上下水道局主要事業の概要について (2) 市街化調整区域下水道整備事業のこれまでの取組と現状について (3) その他	
会 議 資 料	令和5年度 第1回所沢市上下水道事業運営審議会次第 令和5年度 所沢市上下水道事業運営審議会委員名簿 令和5年度 第1回所沢市上下水道事業運営審議会席次表 資料1 令和5年度所沢市上下水道局主要事業の概要 資料2 市街化調整区域下水道整備事業のこれまでの取組と現状	
担 当 部 課 名	上下水道事業管理者 平田 仁 上下水道局長 磯 稔 上下水道局次長 根岸 清 上下水道局給水管理担当参事 村田 孝之 上下水道局総務課長 山下 哲 上下水道局経営課長 草薨 秀夫 上下水道局窓口サービス課長 粕谷 明彦 上下水道局水道建設課長 古澤 祐晴 上下水道局下水道整備課長 村上 和雄 上下水道局下水道維持課長 坂野 浩明 上下水道局下水道整備課主査 井上 直樹 上下水道局下水道整備課主査 田村 真一 上下水道局下水道整備課主任 杉山 捷 上下水道局下水道整備課主事 水出 幸  （事務局） 上下水道局経営課副主幹 田井 浩介 上下水道局経営課主査 越阪部 那佳子 上下水道局経営課主任 水原 史貴 上下水道局経営課主事 辻岡 友梨子 上下水道局経営課主事 久保 未来音 電話 04（2921）1087	

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶（会長）</li> <li>・委員退任と新委員委嘱の報告</li> <li>・上下水道局異動職員自己紹介</li> <li>・会議資料の確認</li> <li>・出席状況の確認、会議の成立の報告</li> </ul> <p>2. 議事の手続き（会長により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新委員の委嘱があったため、事務局より以下3点について説明               <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）会議の公開：原則公開</li> <li>（2）会議録の作成方法：委員名記載の要約方式</li> <li>（3）会議録の確定方法：会長の確認・署名により確定</li> </ul> </li> <li>・傍聴希望者の確認（希望者0名）</li> </ul> <p>3. 議事（会長により進行）</p>
会長	<p>議事（1）について説明していただきたい。</p>
経営課長	<p>※資料1に基づき、令和5年度所沢市上下水道局主要事業のうち、新規6事業（水道4事業、下水道2事業）について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）上下水道局庁舎証明LED化整備事業</li> <li>（2）インボイス制度の開始に伴う料金システム改修事業</li> <li>（3）クレジットカード決済導入事業</li> <li>（4）給水装置リモート検査事業</li> <li>（5）下水道事業経営計画改定事業</li> <li>（6）雨水貯留施設（雨水調整池）築造事業</li> </ul> <p>続いて、昨年度の審議会での質問・意見があった「水道管の埋設深度」に関する報告と「雨天時浸入水対策」の進捗状況について、それぞれ担当課より説明したい。</p>
水道建設課長	<p>資料1【既②】水道管整備事業について、前回の審議会での質問があった“水道管凍結対策としての埋設の深さ”について、前回、所沢市では90cmの深さで水道管を埋設していると説明したが、寒冷地の状況を確認したので報告したい。</p> <p>北海道・東北など寒冷地では、埋設深度を“凍結深度以下”にすることとされている。凍結深度とは、地中の温度が0度になるまでの地表からの深さ（凍結しない深さ）であり、各自治体が建築基準法などで定めている。仙台では15cm、北海道では50cm～120cmである。</p> <p>埼玉県は、凍結深度の規定はなく、秩父地方の一部を除き、寒冷地及び</p>

<p>下水道維持課長</p>	<p>準寒冷地にあたらないため、現時点では、埼玉県域において、埋設深度が90cmを確保されていれば、凍結防止対策に十分な深さが確保されていると考えている。</p> <p>今後の世界的な気候変動に備え、国や近隣自治体の動向を注視し、状況に応じた深度を設定し、更新工事を進めていきたい。</p> <p>資料1【既⑤】雨天時浸入水対策事業について、污水管への雨水流入抑制を目的に、発生原因箇所への対策及び布設対策を、国のガイドラインに基づき計画期間20年間として実施することとして、令和5年3月に国へ提出した。今後、概ね5年を目安に計画の見直しを行う予定である。</p> <p>進捗状況については、過去に大雨による浸入水が多いとされている市南東部に位置する下安松グリーンヒル地区をモデル地区として、先行して重点的に対策を行っている。</p> <p>具体的な対策として、浸入水発生原因の多くは污水管・宅内配水設備の老朽化によるひび割れや破損箇所からの浸入地下水とされることから、地区内の40年以上経過した下水道管のカメラによる管内状況調査、その結果を踏まえた破損個所の更生工事を実施している。</p> <p>令和4年度の実績として、管内カメラ調査3,339.66m、污水管の布設工事（管径250mm）733.9mとなる。</p> <p>効果検証として、地区の最下流部に圧力式水位計、マイクロ波流速計などを設置し、クラウドを利用した対策前後の流量の変化を比較し、対策効果を検証していく。結果を踏まえ、対策が必要な地区への対策を検討する。</p> <p>（以下、質疑応答）</p>
<p>委員</p>	<p>資料1にて、それぞれの事業ごとにSDGsのゴールマークを付けており、よく考えられた資料だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>クレジットカード決済導入事業について、現在は、決済方法も多様化しており、DXの一環としては若干遅れているかと思うが、やるべき対策だと思う。</p> <p>給水装置リモート検査事業について、直接現地へ行くことなく検査できるということで、DXが推進されていることが実感できるよい対策だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>雨天時浸入水対策事業について、埼玉県荒川右岸事務所では非常に重要な事業だと認識している。国のガイドラインに則り計画を立て、具体的な対策を進めていただいております、非常にありがたい。</p>
<p>委員</p>	<p>水道管整備事業について、埋設深度の説明の際、「仙台で15cm」とあったが、埋設深度が15cmという認識で合っているか。</p>

水道建設課長	仙台市での凍結深度の規定が15cmであり、実際に水道管が埋設されている位置ではない。実際はそれより深い位置に入れていると思う。
委員	クレジットカード決済導入事業について、審議会の意見を吸い上げて、導入を検討いただき感謝する。 上下水道局庁舎証明LED化整備事業について、積極的に取組むのはいいことだと思うが、効果が分かる具体的な数値、例えば、電気量の削減やCO2の排出量の削減などを示してもらえるとより良くなると思う。
委員	所沢市は、市が出資する環境に配慮した電力会社があり、それを利用しているということ間違いはないか。
上下水道局長	ところざわ未来電力は、ごみを焼却して発電するバイオマス発電を積極的に組み入れた発電を行っており、市はその電力を購入している。
委員	ところざわ未来電力の1kWhあたりのCO2排出量は、東京電力等と比較してどのくらい少なくなっているか。
上下水道局長	CO2排出係数というものがあり、その値が低いことなどを理由として、電力調達先として選定している。
委員	クレジットカード決済導入事業及び給水装置リモート検査事業について、人件費の削減にもつながり、デジタル社会の推進に寄与しており良い施策だと思う。
委員	漏水については、水道管整備事業で取り組んでいるのか。
水道建設課長	水道の更新工事については、漏水が多い箇所を優先して選定し耐震化を図っており、漏水対策にも寄与している事業である。
委員	どのくらいの漏水率か。
給水管理担当参事	漏水の基準の一つとして「有収率」があり、有収率が高いほど漏水が少ないとされている。所沢市の有収率は令和3年度が約98.71%であり、ほぼ健全な状態といえる。
委員	1%くらいはもしかしたら漏水しているかもしれないが、所沢の有収率はかなり優秀である。  (質疑応答はここまで)

<p>会長</p> <p>下水道整備課主査</p>	<p>続いて、議題（２）について説明していただきたい。</p> <p>※資料２に基づき、市街化調整区域下水道整備事業のこれまでの取組と現状について説明。</p> <p>（１）所沢市のこれまでの下水道整備  （２）第１次市街化調整区域下水道整備計画（第１次計画）  ②－１ 第１次計画の概要  ②－２ 第１次計画に基づく事業の進捗  ②－３ 第１次計画に基づく事業の費用効果分析  （３）下水道整備等に関するアンケート調査  （４）「下水道」施策に関する市民の要望率と満足率</p> <p>今後の整備方針について、今年度の審議会での審議及びパブリックコメントの手続きを実施する予定である。</p> <p>（以下、質疑応答）</p>
<p>委員</p>	<p>資料２の８ページの表にある「下水道普及率」について、第４期で９５．１％ということであるが、第２次計画で予定している市街化調整区域には、人口が少ないということか。</p>
<p>下水道整備課長</p>	<p>ご指摘のとおりである。</p>
<p>委員</p>	<p>１０ページのアンケート調査で、「下水道への接続を希望しない」との回答があり、下水道接続の際の費用負担が影響することが考えられるが、接続にあたり各個人でどのくらいの費用負担があるか。</p>
<p>下水道整備課長</p>	<p>費用負担としては、例えば、浄化槽を利用している場合、宅内の浄化槽撤去、下水管本管への接続費用や受益者負担金等が必要となる。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケート取得時に、負担が大体どれくらいの額になるのか、お伝えしているか。</p>
<p>下水道整備課主査</p>	<p>下水道に接続する際に住民の方に自費で負担していただく費用がある旨、アンケート調査実施時に明記した上で回答していただいている。</p> <p>具体的に、受益者負担金は下水道整備をした際には必ずかかるものになる。現在の受益者負担金の単位金額は、１㎡あたり１，１３０円である。今後、値上がりする可能性がある旨もアンケート調査時に明記している。</p> <p>現時点で未整備の市街化調整区域にお住まいの方は敷地が広いことが多く、１宅地２００㎡以上超える敷地を所有する方もいる。仮に１００㎡に１，１３０円を掛けて受益者負担金を算出すると、負担は１０万円以上にな</p>

	<p>る。その他に浄化槽の改造費用があり、各敷地の下水本管から自宅の浄化槽までの距離によるが、敷地が広いと工事費用も数十万の負担になる。</p> <p>市では、その工事費用についてお示しできないため、各自で見積を取得してもらい費用を算出した上で、下水道への接続を希望するかを調査しているアンケートとなっている。</p>
委員	<p>いずれ行政として負担軽減、例えば分割払いや補助金を出す等の施策の検討に期待している。</p> <p>また、アンケート回答率52.5%は少ないと感じる。6～7割無いと対象区域の住民全体の意見と言いつらく、意見の取扱いには気を付けなければならない。大事なことは、受益者の負担費用がかかることを理解し、その上でどのように考えるかを確認することが大事である。</p>
委員	<p>アンケート調査回答の「その他」には、どのような意見があったか。</p>
下水道整備課主査	<p>手元に資料が無いため、確認の上、後日回答する。</p>
委員	<p>11ページに市民の満足率の令和4年度の値が57.0%とあるが、下水道に対する不満はどのようなものか把握しているか。経済的な負担が大きいことが考えられるだろうか。</p>
委員	<p>受益者負担金が30坪位で10万円を超えるなど、接続費用等を考えるとそれが主な理由となっている可能性は考えられる。</p>
委員	<p>費用以外にも、処理能力や基準等への不満の可能性はあるのか。後日でよいので確認をお願いしたい。</p>
下水道整備課主査	<p>手元に資料が無いため、確認の上、後日回答する。</p>
委員	<p>下水道未整備地域について、今後、人口が増えて開発が可能となる地域、もしくは、市としての街づくりとして人を増やしていきたい地域があれば、教えていただきたい。</p>
下水道整備課長	<p>下水道未整備地域について、小さな集落等の地域で、現時点で市の街づくり関連の開発に関係してくるところは少ないと思うが、場所によっては開発を実施している箇所もある。</p> <p>具体的には、市街化調整区域の中でも、工業団地周辺や一般廃棄物最終処分場周辺地域等が、今後開発が見込まれる地域であると認識している。</p> <p>そういったところが、今後審議の対象となっていくと考えている。</p>
上下水道局長	<p>日本の人口は減る中で、所沢市の現状として、人口はほぼ横ばいで推移</p>

	<p>しているが、今後の積極的な宅地開発は難しいかと考えている。暫定逆線引き地域が再度市街化区域になっているような地域は、区画整理事業の中で整備をするので、今後、本審議会での議論の対象となってくるのは、そういった可能性がない地域になるのだと認識している。</p> <p>(質疑応答はここまで)</p>
会長	<p>続いて、議題（３）について説明していただきたい。</p>
下水道維持課長	<p>前回の審議会で情報提供した「環境調査研修所における除去土壌の再生利用実証事業」について、その後の状況を報告する。</p> <p>まずは、簡単に概要を説明する。</p> <p>航空公園駅の東側にある防衛医科大学校と国立リハビリテーションセンターの間にある環境省施設内の敷地内に、実証箇所を設け、縦13m横5m、面積にして65㎡を掘削し、福島県より持ち込んだ放射能基準値8,000Bq/kg以下の除去土壌を20㎡、大体10トントラックで6～7台分を埋め、その上に覆土し芝生を植える。</p> <p>その土壌に浸透した雨水を集めるために、周辺を集水シートで覆い、貯留槽に引き込み、一時的に貯留後、水質検査を実施し、その後下水管に放流する計画である。</p> <p>現状について、昨年12月に環境省が住民説明会を開催し、周辺住民へ説明を行うも理解を得られず、事業開始時期については未定となっている。</p> <p>局としては、今後の動向を注視し、事業開始の際には、排水基準や方法等について、環境省や市の環境対策課と協議を行い、必要に応じ審議会で報告していきたい。</p>
上下水道局長	<p>市のスタンスとしては、事業を進めるにあたり、住民の合意が大前提であると国に伝えている。周辺の自治会では反対の決議をしているので、今後の見通しについては厳しいと考えている。</p>
会長	<p>予定した議事は以上となるが、他に何かあるか。</p>
経営課長	<p>今後の審議会の予定について報告する。本日出席している委員の任期満了は7月末となっているので参考となるが、次の審議会の開催は、8月3日（木）か4日（金）を予定している。審議事項は、市街化調整区域の下水道未整備の今後の在り方に加え、下水道事業経営計画の改定について予定している。議論を重ね答申をいただきたいと考えている。</p>
会長	<p>本日が最後の会議である。最後に審議会へ参加した感想を一言ずついただきたい。</p>

委員	<p>上下水道はライフラインであるが、あって当たり前という感覚であり、普段理解を深めたり考えたりする機会がないため、審議会への参加は良い機会であった。</p>
委員	<p>何も分からないところからのスタートであったが、市民として、少しずつ上下水道に対する理解を深めることができた。電気料金等が値上げとなる中で水道料金は値上げにならずいつも使わせていただいております。大変勉強になった。</p>
委員	<p>委員に選んでいただいて光栄に思っている。水道に関して連携できればと思いはりきって出席させていただいた。</p>
委員	<p>2期連続で参加したが、前期では知識0からのスタートで2年が過ぎ、今期に関しては、コロナ禍で活動しづらい中でも審議をすることができた。局の方々が日々我々の生活を支えていただいているということを十分に理解した。</p> <p>今後は、新しい委員での議論となっていくと思うが、水道料金の値上げ等難しい問題・課題が出てくると思う。市民としては値段が上がらない方がありがたいが、どんなに職員が努力してもやむを得ない部分も出てくると思う。難しい話になるが、関わる方には議論を頑張っていただきたいと思う。</p>
委員	<p>2期連続で参加したが、上下水道局の仕事について多岐にわたって大変だということと、優秀な職員が従事していることを理解した。</p> <p>健全な経営を貫いていることは素晴らしいと感じている。優秀な職員があつてこそだと思っている。</p> <p>自身については、上下水道の知識は全く無かったが自ら勉強させてもらい、自己の成長につながったと感じている。</p>
会長	<p>委員の皆様の熱心な議論に感謝申し上げます。</p> <p>自身としては、楽しい雰囲気での議論を心掛けた。事務局も分かりやすい良い資料を作成したり等、良い仕事をしていることを誇ってほしい。</p> <p>生活者としての目線で色々と質問し、意見を言わせてもらった。厳しいことも言ったと思うが、そういうスタンスをもって審議に臨むことが大事だと考えている。力を合わせて市民の方々のより良い生活につながっていけばよいと思う。最後に今一度皆様に感謝を申し上げたい。</p>
事務局	<p>現委員任期中の審議会は本日が最後となる。平田上下水道事業管理者よりご挨拶させていただきたい。</p>
上下水道事業管理者	<p>委員の皆様からの感想、ご意見を直接お聞きし、胸が熱くなる思いであ</p>



<p>会長</p>	<p>る。本日が最後の会議となるが、長い間ご尽力いただいたことに深く感謝申し上げます。</p> <p>令和3年に第1回の会議を開催し、計8回の審議会を開催したが、貴重なご意見をいただくとともに、慎重な審議を重ねていただき、重要な事案についても滞りなく進めることができた。改めて感謝申し上げます。</p> <p>振り返ると、令和3年度は、北野・上安松・若松町について、市街化区域編入区域にも関わらず土地区画整備計画の対象外となったため、本会議で、下水道整備事業の実施及び受益者負担金の単位負担金額の議論を行い、答申をいただいた。</p> <p>令和4年度は、雨天時浸入水対策計画及び所沢市上下水道局の各種事業の進捗状況について、貴重なご意見をいただいた。各種事業を実施するにあたり、今までにいただいたご意見を反映し、今後も事務に遺漏がないよう努めていきたい。</p> <p>委員の皆様においては、引き続き、上下水道に熱い関心を持っていただき、変わらぬご理解とご協力を賜れば幸甚である。</p> <p>寒暖差が大変厳しい日々であるが、健康には十分にご留意いただき、ご健勝にご活躍をされることをご祈念し、御礼の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。</p> <p>4. 閉会（事務局により進行）</p>
<p>委員</p>	<p>閉会挨拶</p>